

INFORMATION

3

ゼネラルブリーフィングデータ

2025年7月

北海道バルーンフェスティバル組織委員会

◎大会名称及びエントリー数

第52回北海道バルーンフェスティバル【日本気球連盟公認】

- ・競技参加 34チーム
- ・オフィシャルバルーン（係留含む） 5機
ウインドノット2／ルイス・ミッシェル号／ほろんちゃん号／かみしほろⅢ号／
アルスくん号／リバービレッジ号]

◎大会競技期間

2025年8月1日（金）～8月3日（日）

日の出 4：30／日没 18：30（期間統一）

◎エリア

上士幌町航空公園メイン大会ローンチサイト（8495／8975）を中心に競技地図にあるノータムエリア内で行います。

◎競技規定

別紙参照。

◎採点、順位

- ・1000ポイント方式で採点順位を決定します。注：記録員（オブザーバー）配置無し。
- ・チーム総得点でチャンピオン、上位順位チームを表彰します。

【BLS部門、フェスタ部門の各部門別で採点及び表彰】

◎表彰・賞金

大会総合順位により、各部門の上位入賞者には賞金・賞品を授与します。

【BLS部門】

総合順位	賞金	賞品
1位	10万円	かみしほろ大岩賞、特産品等
2位	5万円	特産品等
3位	1万円	特産品等
4位	—	特産品等
5位	—	特産品等
6位～	—	特産品等

□かみしほろ大岩賞について

平成30年7月に逝去された故 大岩正和様の、第1回大会から長きにわたる本大会へのご助力と、上士幌町における熱気球の礎を築かれた功績を称え、第45回大会より「かみしほろ大岩賞」が設立されました。総合優勝チームには、かみしほろ大岩賞記念トロフィーを贈呈します。

【フェスタ部門】

総合順位	賞金	賞品
1位	10万円	特産品等
2位	5万円	特産品等
3位	1万円	特産品等
4位	—	特産品等
5位	—	特産品等
6位～	—	特産品等

◎競技者

- ・チームは競技者（パイロット）をフライト毎に変更することができます。
- ・エントリーチェックは、タスクブリーフィング毎に確認します。

◎大会スケジュール、会場

大会スケジュールは別紙参照。

【競技本部会場】

- ・競技本部：山村開発センター 2階 第3研修室
- ・エントリー受付：山村開発センター ロビー
- ・ブリーフィング会場：山村開発センター 大ホール
- ・デブリーフィング会場：山村開発センター 大ホール
- ・公式掲示板：山村開発センター 玄関前

◎競技エリア

- ・競技地図 競技委員会発行の5万分の1の平面地図を使用します。
U. T. Mコード対応になっています。
MAP DATUM (WGS 84) ※基準測地系
- ・ノータム 別紙参照
- ・PZ
レッドPZ：競技地図に記載されています
PZ 1～PZ 8及び地図に記載されていないPZ 9。【PZ 9詳細 8913/9081】
半径300m以内ランディング禁止
地上空 800 フィート以下フライト禁止
イエローPZ (ジャガイモ環境保全地域)
離着陸禁止
- ・大会ローンチポイント (8495/8975)

◎航空公園（ランチサイト）への入場等について

道道上士幌土幌音更線からの出入りについては、通行禁止となります。ランチサイト北側町道42号から出入りすること。

- ・ランチサイト内の車輛乗り入れは、「Lパス」がある車両のみとします。
- ・ランチサイト南側の駐車場の使用は、「Lパス」または「Aパス」がある車両のみとします。

◎交通安全について

北海道の交通事故は、なかなか減りません。これは、道路幅が広く、直線道路が長いため、交差点等での衝突事故が多く発生しているためと思われます。

特に熱気球の大会期間内中は、道になれていない選手、役員の方々もハンドルを操る機会が多くなるものと思いますし、熱気球を追跡しながらのわき見運転や熱気球を見失わないためのあせった運転など、事故を誘発することが考えられますので、充分注意されますようお願いいたします。

過去の大会でも不幸なことに会場の道々上で観客が大会参加者（競技車両）にはねられ、死亡するという事故が起こっています。特に初心者が運転する場合は助手席にベテランの方が乗り、運転に対するアドバイス等を行うようにしてください。

◎送電線への接近事故について

上士幌町周辺には、道央、道東地方を結び電力を供給している、超高圧基幹送電線が多数通過しています。

送電線の電圧は、187,000 ボルトで、一般家庭に供給されている電気の約 2,000 倍という、高い電圧の電気が流れています。

従って、電線に接触しなくても、近くに接近することで、電気が空気中を放電しアークが発生する可能性があります。このため、電線に接触しなければ安全であるという考えは誤りです。安全に飛行するためには、常に電線から適切な距離を保つ必要があります。

※ 接近事故を防ぐには

- ・送電線には、近づかないようにしてください。
- ・送電線上空を通過する場合は、送電線より600ft以上（目安として地上よりの高度800ft以上）の高度を確保して通過してください。
- ・送電線より、水平距離で1Km以内には着陸しないでください。

◎GPS機器またはアプリの使用について

離着陸地の確認（フライトレポートシートへの記入）には、ハンディGPSもしくはBallonn Live アプリ(BLA)を使用します。BLA使用の場合、は下記アプリをスマートフォンに事前にインストールをお願いします。

アプリ名 : Balloon Live

(¥800)



iphone の方

App Store: <https://apps.apple.com/jp/app/balloon-live/id1471336096>

Android スマホの方

Google play: <https://play.google.com/store/apps/details?id=lt.fai.balloonLive2.paid>

◎安全対策の確認

備品等のチェック 高度計、消火器、ハーネス、ホイッスル、パイバル、連絡機器、安全対策組織機構・連絡網、作物・家畜対策マニュアル、送電線、交通安全。

◆本インフォメーション、ゼネラルブリーフィングデータについてのご質問は、事前に大会本部へメールにてご提出ください。

いただいたご質問に対しては、ゼネラルブリーフィングにおいて回答いたします。

ブリーフィングをスムーズに進めるため、ブリーフィング中のご質問はお受けできませんので、ご了承ください。

【お問い合わせ先】北海道バルーンフェスティバル組織委員会（競技委員会）

h_kballoon@town.kamishihoro.hokkaido.jp

すべてのバルーンニストへ

楽しくフライトするために、以下の事項を厳守してください。

1. 牧草地や農作地には、絶対に車を乗り入れないこと。牧草も大切な作物です。十分に注意すること。
2. 気球が着陸した際は、所有者若しくは使用者に必ず挨拶をすること。気球の回収で畑に入る際には、必要最小限の人数で行うこと。長くフライトエリアを保つには、良識あるバルーンニストの絶大なるご協力が必要です。オブザーバー・レポートに、着陸地の所有者若しくは使用者の氏名を記入すること。所有者不在の場合は、パイロット氏名と大会中と大会後の連絡先を記入して「書置き」を残しておくこと。大会前や終了後、各チームでフライトするときも同じです。
★フライト及びランディングの際に畜産農家のお宅に挨拶に行くときは、牛舎等の施設に勝手に侵入しないこと、また、挨拶には責任者等必要最小限の人数で、挨拶に伺うよう指導をされていますので必ず守るようにしてください。更に、ジャガイモシストセンチュウが発生しているため、着陸時にはその畑の土の移動を行わないことを徹底し（中間着陸やタッチダウンして、ゴンドラにその畑の土が付着した状態で他の畑に着陸することも厳禁）、オーバーブーツを必ず履き、車両・ゴンドラの洗浄は必ず行ってください。万が一着陸禁止場所に着陸した時は、農作物に影響の無い場所に移動し、速やかに本部へ連絡すること。
★酪農家（牛舎）の上空を飛行するときはサイレントバーナーを使用し対地高度800フィート以上でクリアすること。
3. ランチサイト内では、車両は一方通行とする。
いかなるゴミ、タバコの吸殻も捨ててはならない。必ず回収すること。
フィールドの端に車両を駐車し、フィールド内には車両を進入させないこと。ランチサイト内に進入できる車両は、気球を搭載している車両1台を原則とします。
4. 自動車の運転には、十分に配慮すること。わきみ運転、飲酒運転、スピード違反、交通事故などを起こさないこと。暴走行為など悪質で危険な運転については、競技上のペナルティーや全ての権利の停止処置をすることがあります。
過去、観客が競技車輛にはねられ死亡するという事故が起こっています。会場付近では、特に道路横断者に注意して下さい。
5. すべての事件・事故は、大会本部に報告してください。
 - 1) 人身事故、対物交通事故、車両大破などその他重大なもの。
 - 2) 離陸、飛行中もしくは着陸の際の作物の破損、土地所有者もしくは使用者とのトラブル、建築物の破損、人身事故。特に作物については、たとえ茎1本でも報告すること。また、所有者の事後承諾が得られていても報告すること。
 - 3) すべての火災事故、電話線、電線等への接触、切断、停電事故。4) P Z 空域内の飛行、着陸。
 - 5) その他、被害金額が1万円を超える気球の損傷事故。